

11

三重病院

2019

## ニュースレター

news letter vol.243

- 01 ご高齢の方はインフルエンザワクチンと肺炎球菌ワクチンを打ちましょう。
- 02 臨床研究部からのお便り—第19回—  
通所支援事業のひとコマ  
「やまばとギャラリー」情報コーナー
- 03 ふれあいまつり  
5病棟の生活のひとコマ⑤
- 04 Medical Safety Letter 安全便り(11月)  
外来からのお知らせ／外来診察のご案内

## ご高齢の方は インフルエンザワクチンと 肺炎球菌ワクチンを 打ちましょう。

11月を迎え、今年も早いもので、あと2か月となりました。これから寒くなるにつれて、熱や咳で病院を受診し、インフルエンザや肺炎と診断される方が多くなってきます。インフルエンザに感染すると高い熱が出てしんどい思いをしますが、たいていは外来で治療ができ、入院が必要なほど重症化するケースはあまりありません。しかしながら、基礎疾患をお持ちの方や高齢者では時に重症化して入院が必要となり、なかには死亡される方もみえます。

2009年の新型インフルエンザの世界的な流行により、改めてインフルエンザワクチンを流行前に打つ必要性を認識された方も多いと思います。ただ、高齢者にとっては、インフルエンザワクチンだけで重症化を抑制する事は難しいとされています。

私たちは国立病院機構の病院で協力して、入院治療が必要な重症のインフルエンザにかかった方はどのような特徴があるのか調査しました。その結果、成人で入院する方のほとんどは高齢者で、インフルエンザ単独で重症化するケースは少なく、続いて起こる肺炎によって重症化するケースが多いことがわかりました。その肺炎の原因となる微生物の中で最も頻度が高いのが、肺炎球菌という細菌です。肺炎球菌は、健康な人でも鼻やのどに潜んでいる菌ですが、インフルエンザに感染すると気道粘膜が障害されることで侵入し、肺炎を引き起こす原因となります。

従って、若い方は毎年インフルエンザワクチンを、65歳以上の高齢者はインフルエンザだけでなく、肺炎も予防するためにインフルエンザワクチンと肺炎球菌ワクチンを両方接種することが重要です。

### 予防効果は証明されていますか？

以前、私たちは三重県内の高齢者施設に入所している方々にご協力いただき、インフルエンザワクチンと肺炎球菌ワクチンを両方打つことの効果について調査を行いました。その結果、インフルエンザワクチンと肺炎球菌ワクチンを両方打った方々では、インフルエンザワクチン

が打っていない方々と比べて、肺炎球菌による肺炎にかかりにくく、死亡率も低いことが科学的に証明されました。なお、この調査結果は国が65歳以上の高齢者に対して肺炎球菌ワクチンの接種費用を補助するに至った重要なデータとして位置付けられています。

### 副反応はありませんか？

いずれのワクチンも安全性が確立されています。接種部位の軽度の発赤、痛み、腫れ、全身症状の発熱、頭痛、掻痒感、倦怠感は出現することがありますが、1～2日で自然におさまります。また、インフルエンザワクチンと肺炎球菌ワクチンを同じ日に接種することで、副反応が強くないか心配される方もみえると思いますが、安心して受けていただけます。実際に、東日本大震災後に宮城県で4,665人の方が同時接種を受けましたが、重篤な副反応は1例も認められませんでした。これから肺炎球菌ワクチンを受ける方は、インフルエンザワクチンを接種する際に、一緒に接種していただくこともできます。

### 費用はいくらかかりますか？

インフルエンザワクチンの接種費用は、65歳以上の方、60～64歳の方で心臓、腎臓、呼吸器、またはヒト免疫不全ウイルス(HIV)により免疫の機能に障害をお持ちの方は国から費用補助が受けられ、1,200円で接種できます。

肺炎球菌ワクチンは、65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳および100歳以上の方に対しては国からの費用補助の対象者として市役所から肺炎球菌ワクチン接種の案内通知が届きます。案内通知を持参いただけますと2,500円で接種が受けられますので、機会を逃さずに接種してください。(自治体や医療機関により補助費用、接種費用は異なります)

### ワクチン接種のお問い合わせ先

ワクチン接種を希望される方は、予約が必要になりますので、当院の予防接種外来までお問い合わせください。インフルエンザワクチンは予約受付中で、肺炎球菌ワクチンは、1年中いつでも打つことができます。

これから年末にかけてクリスマス、忘年会、大晦日と楽しいイベントがたくさんありますが、せっかくのイベントをインフルエンザで欠席しないように、また、他の人にうつさないように、忘れずインフルエンザワクチンを打ちましょう。また、65歳以上の高齢者の方は市役所から案内通知が届きましたら、費用補助の機会をのがさず肺炎球菌ワクチンを接種してください。

(呼吸器内科 丸山 貴也)